



# 2025年3月期 決算説明会 決算概要

シスメックス株式会社  
2025年5月14日

Together for a better  
healthcare journey

# Disclaimer

- ・本資料のうち、売上予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。
- ・本資料に記載されている製品等の情報は、薬事認可取得の有無に関わらず宣伝広告および医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- ・当社グループは、2017年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用し、IFRSに準拠して開示しております。
- ・2022年3月期に、クラウド・コンピューティング契約におけるコンフィギュレーションまたはカスタマイゼーションのコストについて、サービスを受領したときにそのコストを費用として認識する方法に変更しています。

# Index

1. エグゼクティブサマリー
2. 2025年3月期 決算概要
3. 中期経営計画の進捗
4. 2026年3月期 業績予想
5. 資本コストを意識した経営の取り組み

(補足資料)

- ・ 単四半期業績推移

# 1. エグゼクティブサマリー

# エグゼクティブサマリー (1/2)

## 2025年3月期 通期実績（対前年）

### 大幅な増収増益、売上高5,000億円を超え、営業利益・当期利益ともに過去最高

前年同期比 売上高：110.2%、営業利益：111.7%、当期利益：108.1%

- XR™シリーズのグローバル展開や血液凝固分野の直接販売効果、新興国の成長機会の獲得など成長戦略が奏功し、全地域で増収を達成
- 販管費の適切なコントロールや増収・円安の効果もあり、営業利益は大幅増益

対計画については、売上高は想定どおり進捗、のれん減損損失の影響を除くと営業利益も計画達成

## 2026年3月期 業績見通し

### 外部環境の変化はあるものの、ビジネスは堅調に推移しており、増収増益を計画

- ヘマトロジー、血液凝固分野を中心とした既存事業において、着実に需要を獲得
- インド新生産拠点設立やブラジル、サウジアラビアの直販化など、これまで取り組んできた新興国市場の基盤強化の効果を発揮
- 米国相互関税や中国政府方針の強化などの外部環境変化にも迅速に対応、影響を最小限に抑える

# エグゼクティブサマリー (2/2)



## サステナビリティ経営

- 「DJSI World Index」に9年連続選定、**ヘルスケア機器業界で最高位を獲得**
- **取締役会の多様性を強化**（新たに社外取締役を選任予定）
- **業績連動型株式報酬を導入**し、役員報酬と業績・株価の連動性を高め、より資本コストを意識した経営を推進する ※2025年8月から適用  
※58期定時株主総会に付議する予定

## 株主還元

- 2025年3月期の配当を期初予定より**2円増配**し、32円とする
- 今後の株主還元方針として、連結での配当性向を**30%から40%目処へ変更**し、**累進配当**とする  
※2026年3月期から適用  
※58期定時株主総会に付議する予定

## 2. 2025年3月期 決算概要

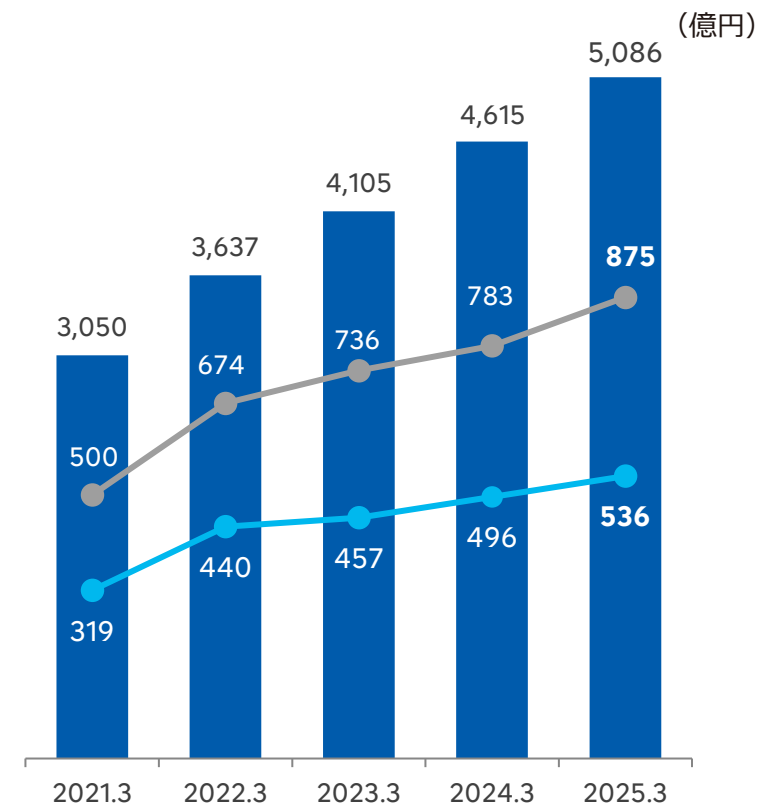
# 決算総括（対前年）



(億円)	2025年3月期		前年同期		前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	5,086.4	100%	4,615.1	100.0%	110.2%
売上原価	2,366.6	46.5%	2,190.1	47.5%	108.1%
販売費及び一般管理費	1,508.4	29.7%	1,337.9	29.0%	112.7%
研究開発費*	314.5	6.2%	314.0	6.8%	100.2%
その他の営業損益	△20.8	△0.4%	10.8	0.2%	-
営業利益	875.8	17.2%	783.8	17.0%	111.7%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	536.6	10.6%	496.3	10.8%	108.1%

- **売上高** : 試薬売上が継続して伸長するなど、全地域で増収、過去最高を達成
- **その他の営業損益** : のれん減損損失△31.7億円を含む
- **営業利益** : 粗利益の増加に加え円安の効果もあり、2桁増益、過去最高を達成
  - ✓ **為替の影響** 売上高 +154.8億円、販管費 +41.7億円、営業利益 +85.6億円（未実現利益の特殊要因20億円除く）
- **当期利益** : +8.1%の増益 為替差損益：△38.5億円（前年同期比△43.6億円）

\* 自己創設無形資産 計上分を含めると、前年同期比107%



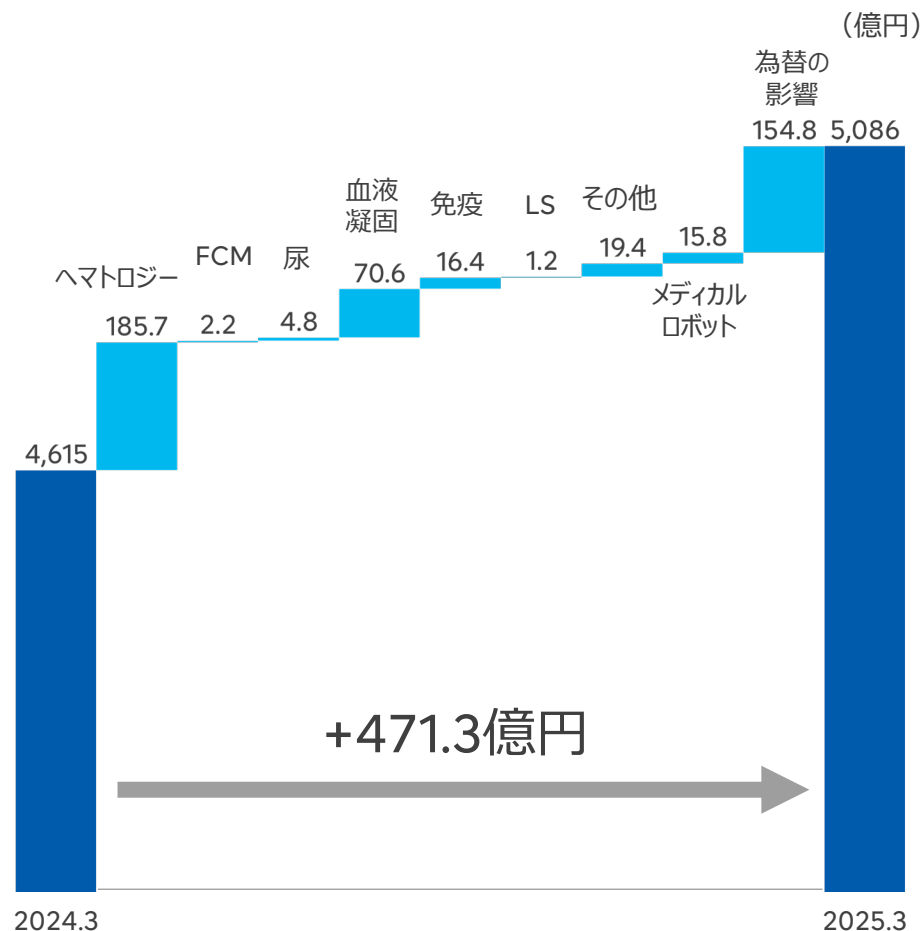
■ 売上高    ● 営業利益    ● 当期利益

	2025年3月期	前年同期
1USD	152.6円	144.6円
1EUR	163.8円	156.8円
1CNY	21.1円	20.1円



# 売上高の増減要因（事業別・分野別）

## 事業別・分野別売上高



ダイアグノスティクス事業はヘマトロジー、血液凝固分野を中心に全分野で増収。メディカルロボット事業も順調に推移し、増収

(億円)	2025年3月期		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	為替影響を除く
売上高	5,086.4	100.0%	110.2%	106.9%
ヘマトロジー	3,032.0	59.6%	110.3%	106.8%
FCM	36.3	0.7%	109.6%	106.7%
尿	408.3	8.0%	104.6%	101.2%
血液凝固	823.4	16.2%	112.9%	109.7%
免疫	258.7	5.1%	109.4%	106.9%
生化学	36.3	0.7%	107.5%	105.1%
ライフサイエンス	213.2	4.2%	104.0%	100.6%
その他	224.1	4.4%	111.9%	108.9%
ダイアグノスティクス事業	5,032.7	98.9%	109.9%	106.6%
メディカルロボット事業	53.7	1.1%	143.4%	142.3%

# 売上高の増減要因（地域別・品目別）

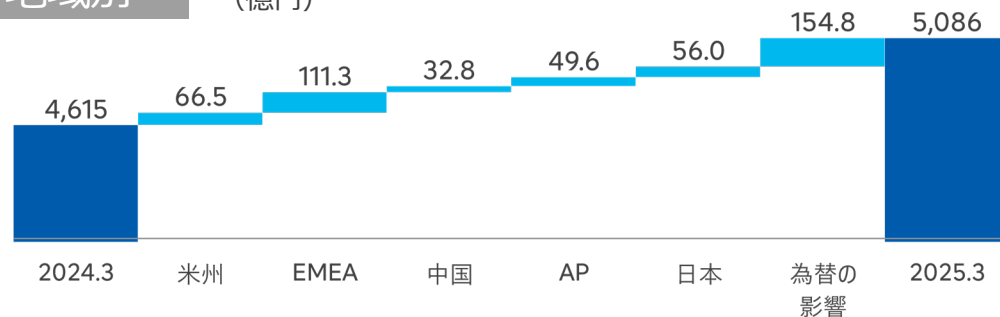
全地域、全品目で増収。機器設置台数増加にともない、試薬も好調に推移

(億円)	2025年3月期		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	現地通貨ベース
売上高	5,086.4	100.0%	110.2%	106.9%※
米州	1,311.4	25.8%	110.4%	104.8%
EMEA	1,403.9	27.6%	112.0%	107.4%
中国	1,179.7	23.2%	107.3%	103.1%
AP	513.3	10.1%	113.5%	111.0%※
日本	677.8	13.3%	109.0%	-
機器	1,042.5	20.5%	103.3%	100.1%※
試薬	3,138.1	61.7%	111.7%	108.5%※
サービス	684.1	13.5%	111.3%	107.0%※
その他	221.5	4.4%	121.3%	118.3%※

※為替の影響を除いた円貨ベースの前年同期比伸長率

## 地域別

(億円)

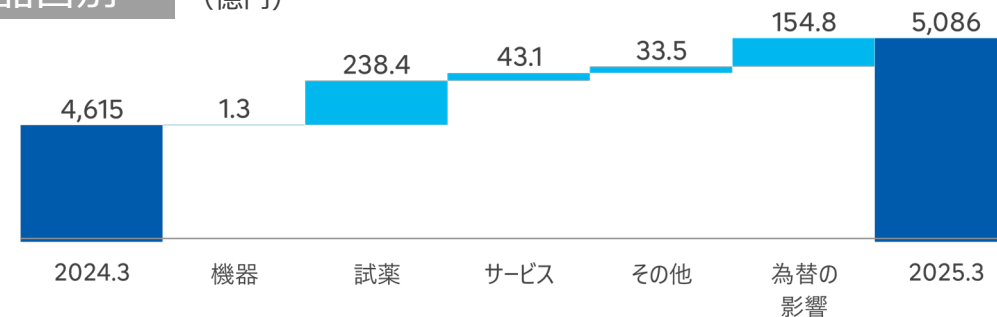


## 地域別の主な成長要因

米州	・ 試薬が全分野で伸長したことが寄与し、 <b>増収を達成</b>
EMEA	・ XRシリーズの市場導入や血液凝固分野の直販効果などにより、 <b>増収を達成</b>
中国	・ 機器売上が前年同等まで回復、試薬はヘマトロジー、血液凝固分野を中心に伸長し、 <b>増収を達成</b>
AP	・ インドをはじめ各国好調に推移し、機器、試薬とも <b>2桁伸長、増収を達成</b>
日本	・ ダイアグノスティクス事業はヘマトロジー・血液凝固分野が2桁伸長するなど好調に推移。メディカルロボット事業も伸長し、 <b>増収を達成</b>

## 品目別

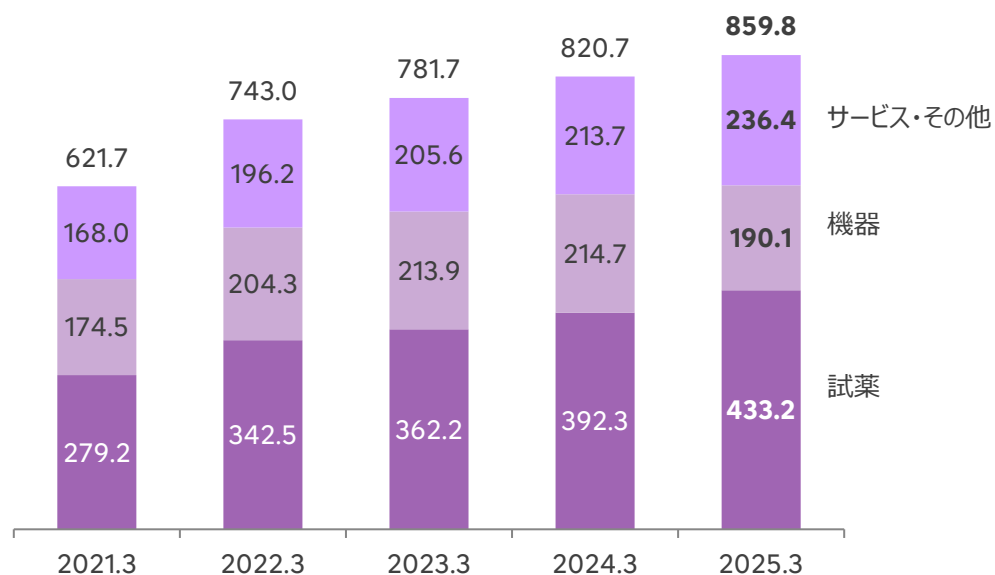
(億円)



# 米州（地域別）

(Million USD)	2025年3月期	前年同期	前年同期比	
			現地通貨ベース	円ベース
売上高	<b>859.8</b>	820.7	<b>104.8%</b>	110.4%
機器	<b>190.1</b>	214.7	<b>88.6%</b>	93.4%
試薬	<b>433.2</b>	392.3	<b>110.4%</b>	116.3%
サービス・その他	<b>236.4</b>	213.7	<b>110.6%</b>	116.6%

売上高推移（Million USD）



機器設置台数増加などに伴い、試薬が全分野で伸長したことが寄与し、増収を達成

## ● 機器

- ✓ 北米での納品遅延などにより減収となるも、血液凝固分野は直販効果により堅調に推移
- ✓ ヘマトロジー分野においても高いリテンション率・獲得率を維持

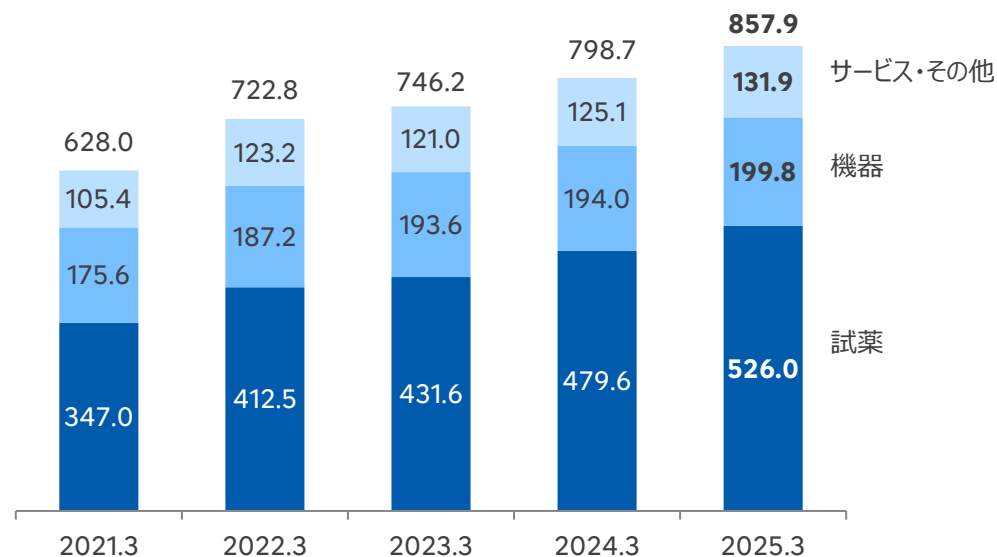
## ● 試薬

- ✓ ヘマトロジーや尿分野における機器設置台数増が牽引し増収
- ✓ 血液凝固分野、免疫分野のアミロイドβ検査試薬（売上高 6.6 million USD）も、堅調に推移

# EMEA (地域別)

(Million EUR)	2025年3月期	前年同期	前年同期比	
			現地通貨ベース	円ベース
売上高	<b>857.9</b>	798.7	<b>107.4%</b>	112.0%
機器	<b>199.8</b>	194.0	<b>103.0%</b>	107.2%
試薬	<b>526.0</b>	479.6	<b>109.7%</b>	114.4%
サービス・その他	<b>131.9</b>	125.1	<b>105.4%</b>	110.1%

売上高推移 (Million EUR)



※過年度データを含め、ロシアの売上高を除いています

ヘマトロジー分野の機器伸長に加え、尿・血液凝固分野の試薬売上が2桁伸長するなど、各国好調に推移し、増収

## ● 機器

- ✓ XRシリーズの市場導入が着実に進み、ヘマトロジー分野が好調に推移し、増収
- ✓ 血液凝固分野は、自社設置台数が増加

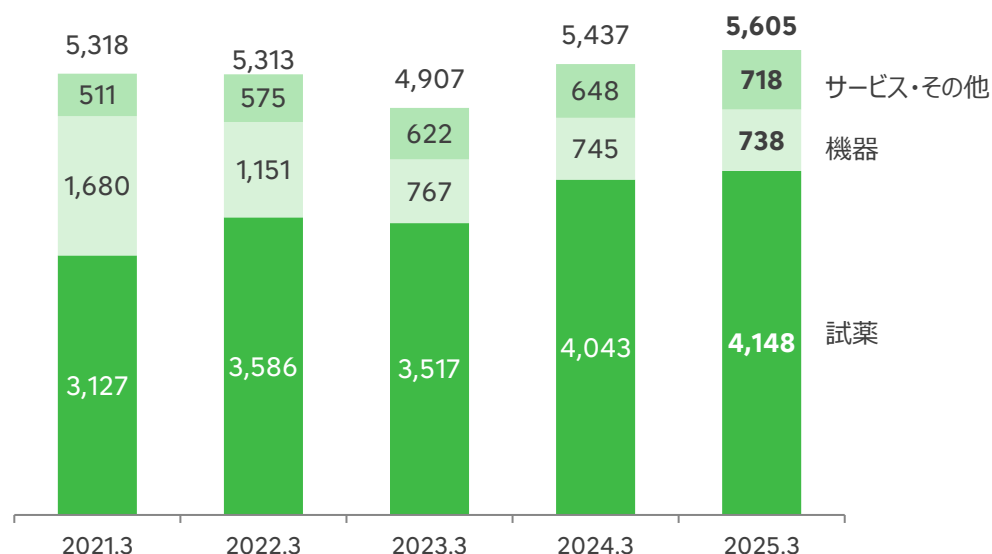
## ● 試薬

- ✓ ヘマトロジー分野において、ドイツ・イギリスや直販化したサウジアラビアなどで好調に推移
- ✓ 尿分野においてもドイツを中心に伸長した他、血液凝固分野のOEM契約による販売も好調に推移し、増収

# 中国（地域別）

(Million CNY)	2025年3月期	前年同期	前年同期比	
			現地通貨ベース	円ベース
売上高	<b>5,605.4</b>	5,437.4	<b>103.1%</b>	107.3%
機器	<b>738.3</b>	745.0	<b>99.1%</b>	103.2%
試薬	<b>4,148.4</b>	4,043.9	<b>102.6%</b>	106.8%
サービス・その他	<b>718.6</b>	648.4	<b>110.8%</b>	115.0%

売上高推移（Million CNY）



機器は、下期は2桁伸長を達成。試薬は集中購買などの影響により4Qで減速するも、通期で増収を達成

## ● 機器

- ✓ 血液凝固分野の上期の影響により減収も、主要製品のロックダウン生産が開始されたヘマトロジー・尿・免疫分野は好調に推移
- ✓ 血液凝固分野も、2Q以降ロックダウン生産品効果により、下期は30%を超える大幅伸長

## ● 試薬

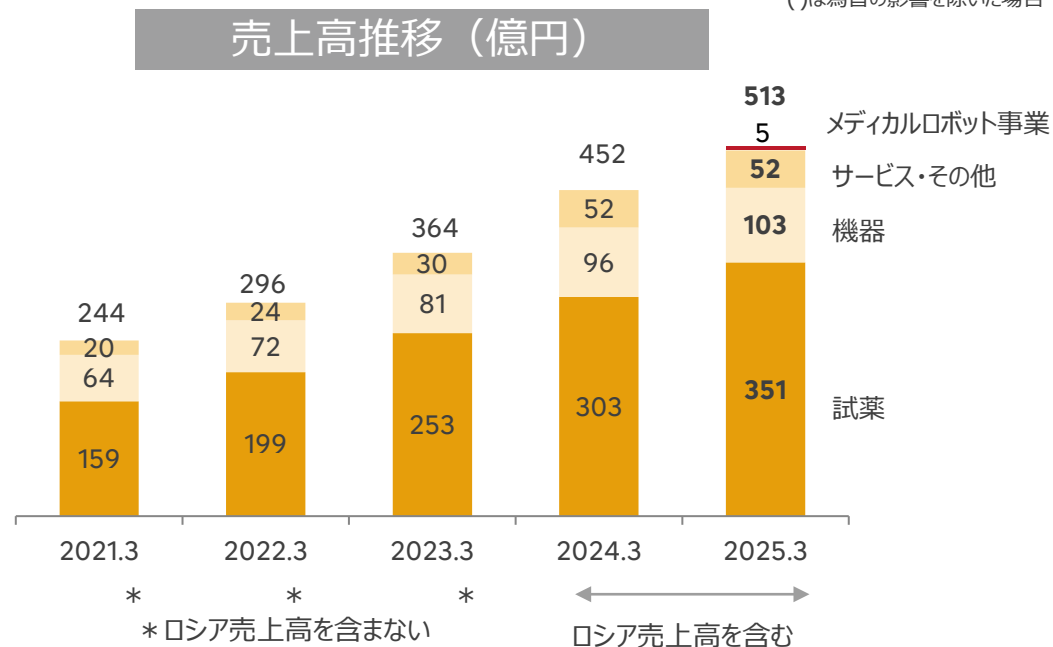
- ✓ 3級病院を中心に外来患者数の増加、機器設置台数の増加もあり、ヘマトロジー・血液凝固分野が伸長し、増収
- ✓ 免疫分野は集中購買等の影響により単価は減少するも、検査数増加により前年同等

# AP（地域別）

※ロシア売上高を含むデータへ変更

(億円)	2025年3月期	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	<b>513.3</b>	452.4	<b>113.5%</b> (111.0%)
ダイアグノスティクス事業	<b>507.7</b>	452.4	<b>112.2%</b>
機器	<b>103.6</b>	96.7	<b>107.1%</b>
試薬	<b>351.1</b>	303.6	<b>115.7%</b>
サービス・その他	<b>52.8</b>	52.0	<b>101.7%</b>
メディカルロボット事業	<b>5.6</b>	-	-

\*( )は為替の影響を除いた場合



機器設置台数増加に伴い、試薬売上が好調に推移し、各国の成長をけん引。メディカルロボット事業の展開も開始。

## ダイアグノスティクス事業

### ● 機器

✓ ヘマトロジー分野がインドやオーストラリアを中心に伸長し、増収

### ● 試薬

✓ ヘマトロジー・尿分野は、インドを中心に各国での機器設置台数の増加に伴い、好調に推移。血液凝固分野もベトナムで大幅伸長するなど全分野で2桁伸長し、増収

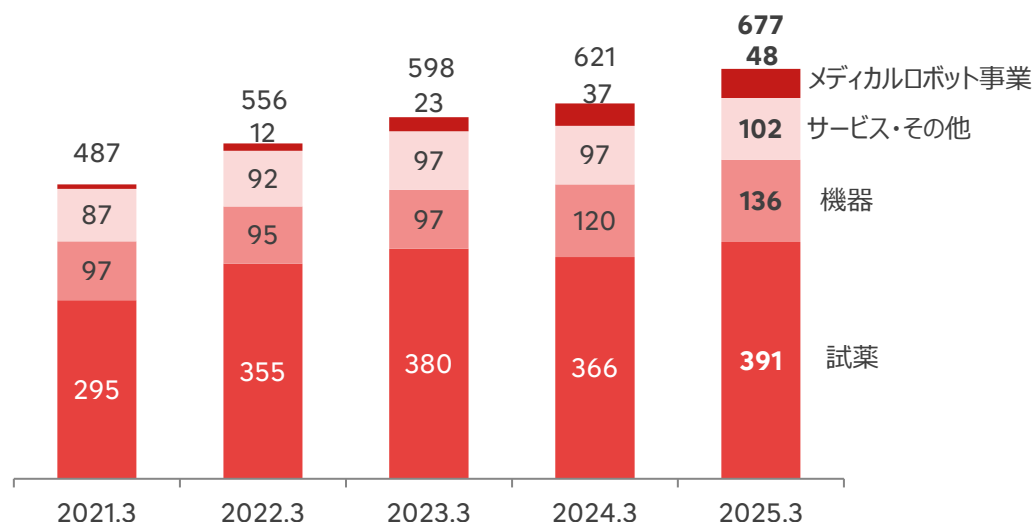
## メディカルロボット事業

- ✓ 累計導入台数：3台
- ✓ 初症例も実施、手術数も順調に増加

# 日本（地域別）

（億円）	2025年3月期	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	<b>677.8</b>	621.8	<b>109.0%</b>
ダイアグノスティクス事業	<b>629.7</b>	584.3	<b>107.8%</b>
機器	<b>136.0</b>	120.8	<b>112.6%</b>
試薬	<b>391.4</b>	366.3	<b>106.9%</b>
サービス・その他	<b>102.3</b>	97.2	<b>105.3%</b>
メディカルロボット事業	<b>48.0</b>	37.4	<b>128.3%</b>

売上高推移（億円）



ヘマトロジー・血液凝固分野が機器・試薬ともに2桁伸長。  
メディカルロボット事業も好調に推移し、増収を達成

## ダイアグノスティクス事業

### ● 機器

- ✓ ヘマトロジー分野のXRシリーズが好調に推移したほか、血液凝固分野でも着実に機器設置台数が増加し、増収

### ● 試薬

- ✓ ヘマトロジー分野の機器設置台数増加に加え、血液凝固分野の他社機器攻略や採用項目拡大により伸長し、増収

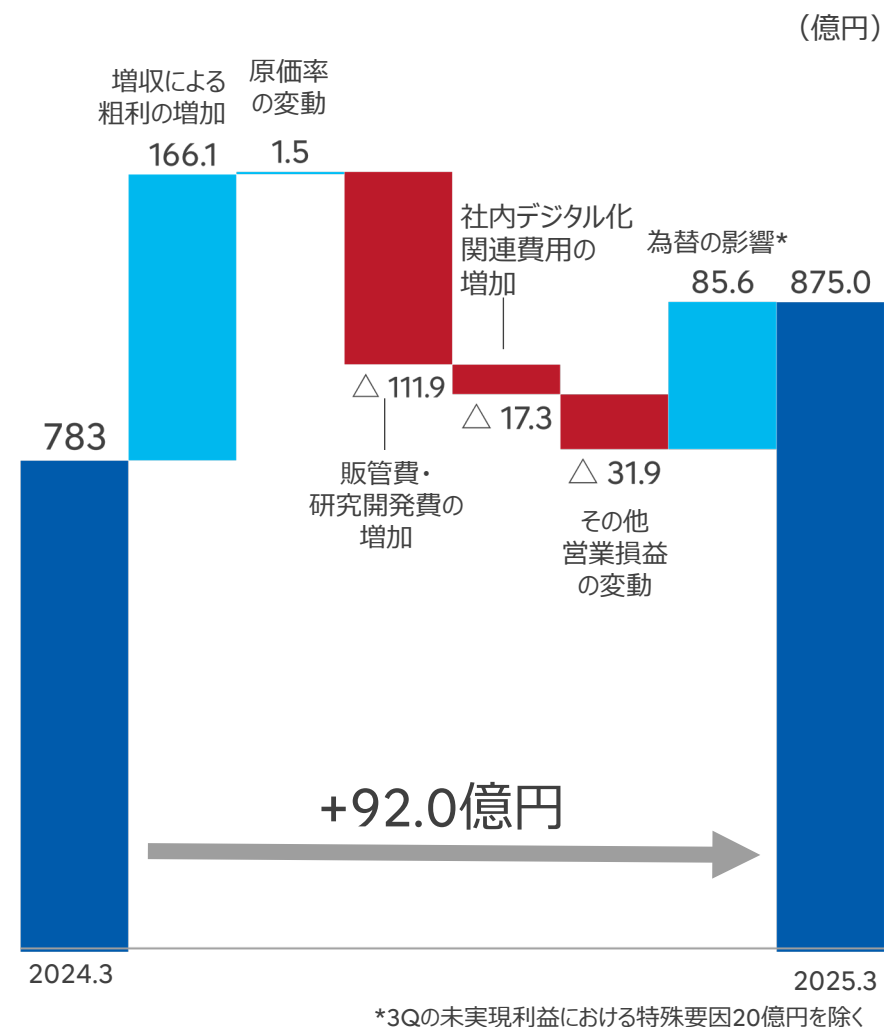
## メディカルロボット事業

- ✓ 今期導入台数：31台、累計台数：86台
- ✓ 導入台数および症例数の増加に伴い、サービス・消耗品（鉗子など）の売上が増加

# 営業利益の増減要因

## 営業利益

※下記数値・コメントは為替の影響を除く

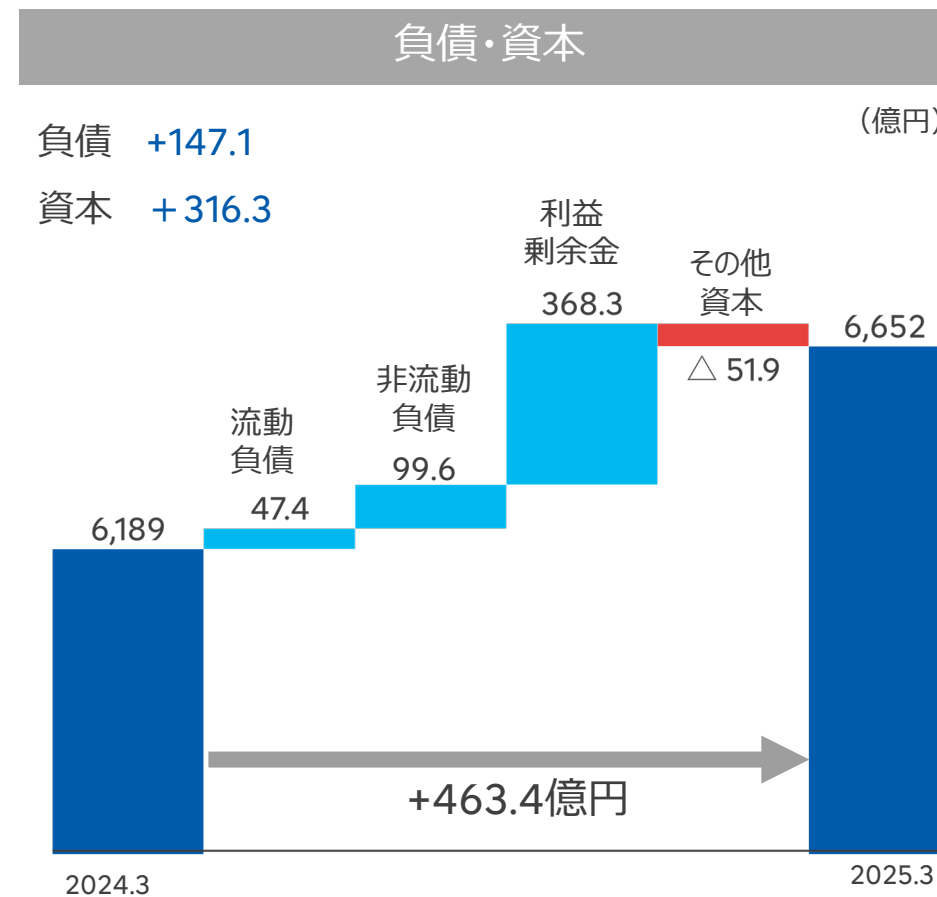
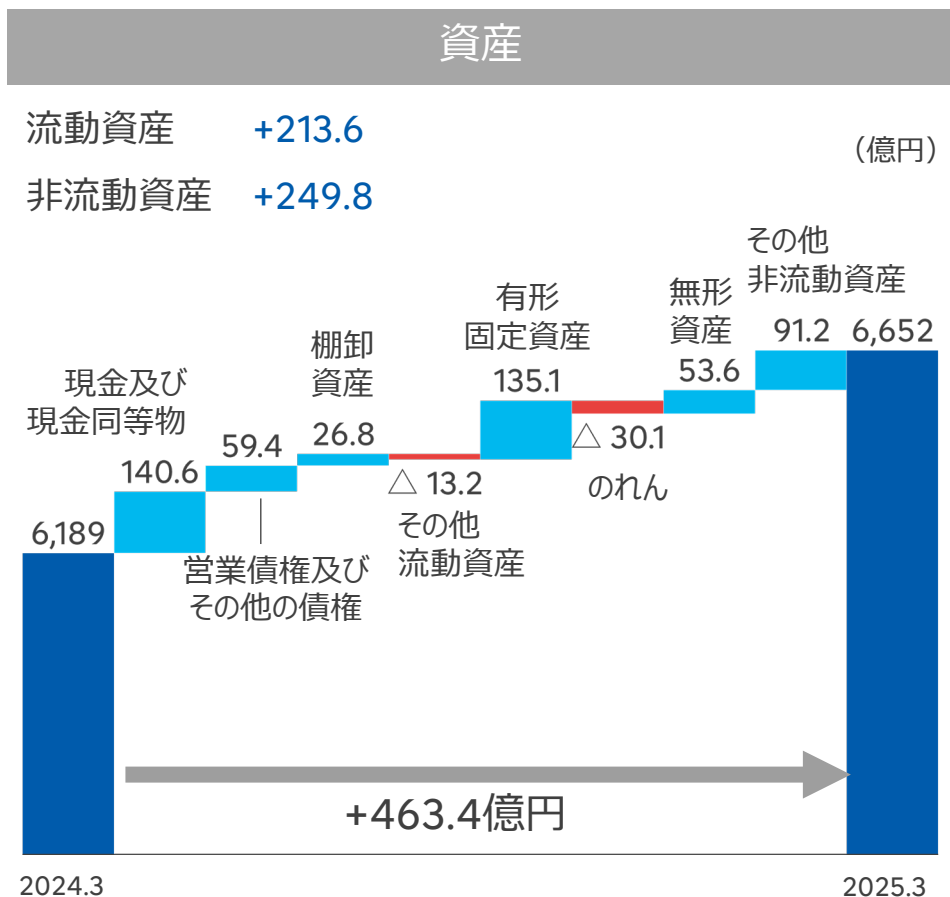


- 増収による粗利の増加：+166.1億円
- 原価率の変動影響：1.5億円（0.1pt改善）
  - ✓ 改善要因：プロダクトミックス 0.5pt
  - ✓ 悪化要因：製品等の原価 0.3pt、サービスコスト 0.1pt、輸送費 0.1pt
- 販売管理費・研究開発費の増減影響：△111.9億円
  - ✓ 労務費：規模拡大に伴う人員増や単価増などによる増加：約82億円
  - ✓ 経費：規模拡大や販促活動による増加：約21億円
  - ※ 研究開発費の増加：0.5億円  
自己創設無形資産を含む日本基準での研究開発費は、+7%と投資を継続
- 社内デジタル化関連費用の増減影響：△17.3億円
- その他営業損益の増減影響：△31.9億円
  - ✓ のれん減損損失△31.7億円
- 為替の影響：+85.6億円（未実現利益の特殊要因20億円除く）



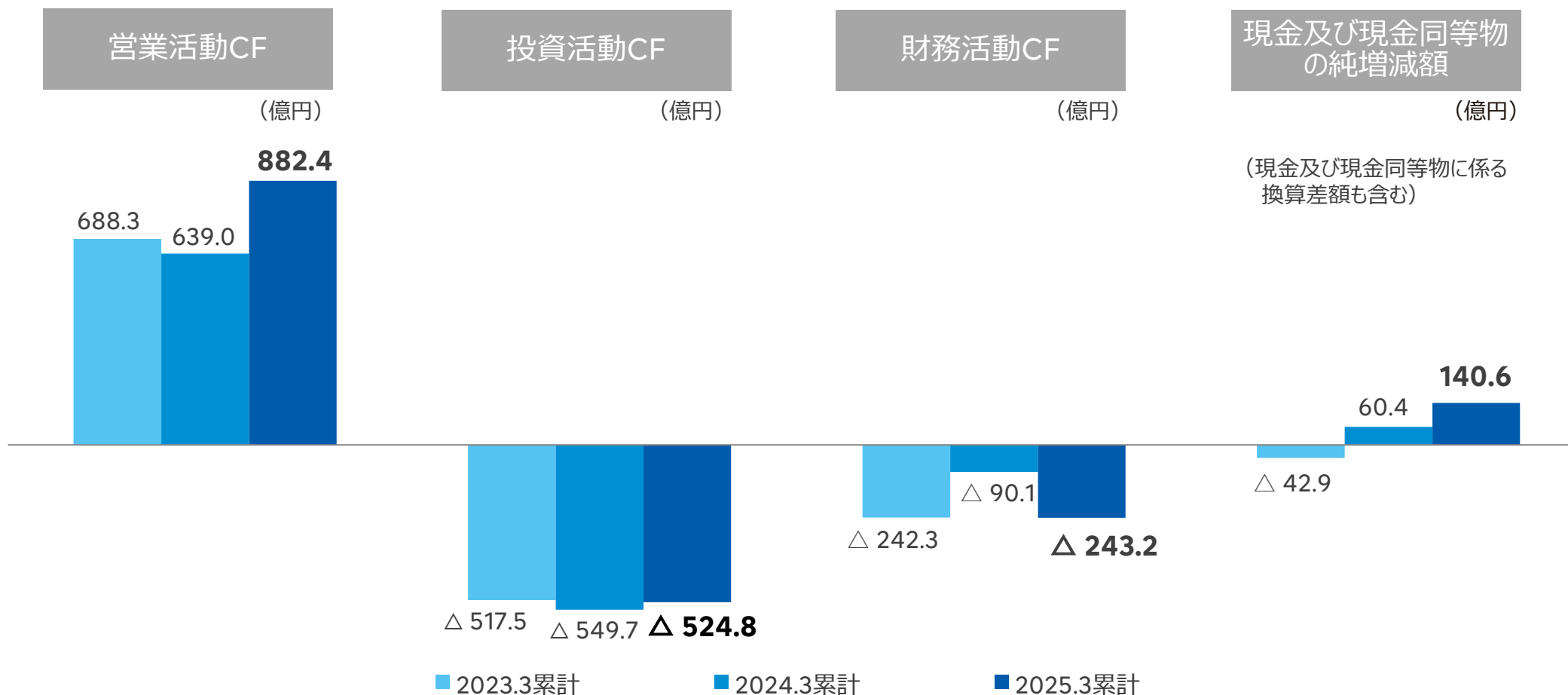
# 連結財政状態計算書の増減要因

資産はのれん減損損失によりのれんが減少も、現金及び現金同等物などが増加。資本は当期利益増加により、利益剰余金が増加



# キャッシュフローの推移

税引前利益の増加や売上債権の回収などにより、営業活動CFが大幅に増加



# 2025年3月期配当（案）

- 配当額は期初予想から2円増配

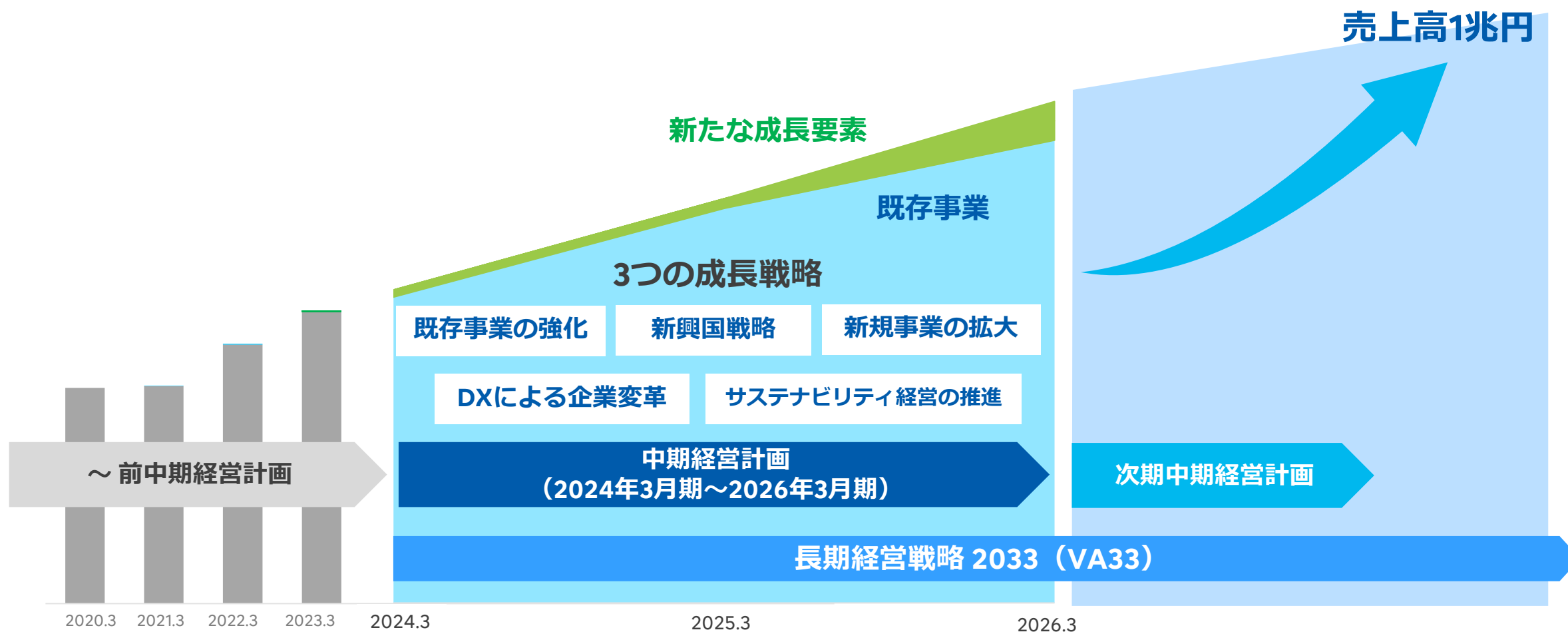
	中間	期末	年間	配当性向
2024年3月期	14円	14円	28円	35.4%
2025年3月期 (期初予想)	15円	15円	30円	35.0%
2025年3月期 (案)	15円	17円※	32円	37.4%

※2025年3月の期末配当は、58期定時株主総会に付議する予定

# 3. 中期経営計画の進捗

# 中期経営計画の全体像

既存事業の強化に加え、新規事業の拡大および収益化に取り組み  
中長期的な成長性の確保とともに収益性・効率性の改善を目指す



# 3つの成長戦略：既存事業の強化（1）

## ヘマトロジー分野

### ✓ 進捗

- XRシリーズのグローバル導入開始
- 周辺装置（BT-50等）による市場競争力強化
- 機器設置台数の伸長により、試薬売上が拡大

### ✓ 今後の予定

- 米州でのXRシリーズ販売開始

## 免疫分野

### ✓ 進捗

- 検査項目数の拡大（2025年3月：61項目）
- アルツハイマー病検査試薬の上市、米国LDT検査開始
- 中国集中購買の影響等を受け、売上高は想定を下回る

### ✓ 今後の予定

- アルツハイマー病検査項目の拡大、パネル化
- 検査項目数の更なる拡大

## 尿分野

### ✓ 進捗

- 中下位市場向け製品の導入（UF-1500）
- 北米でのUNシリーズの販売拡大

### ✓ 今後の予定

- 旧機器使用施設の置換推進

## ライフサイエンス

### ✓ 進捗

- 事業の収益化に向けた、ピボット実施
  - シスメックス アイノスティクスを再編、一部子会社の清算開始
  - 研究開発テーマの絞り込み

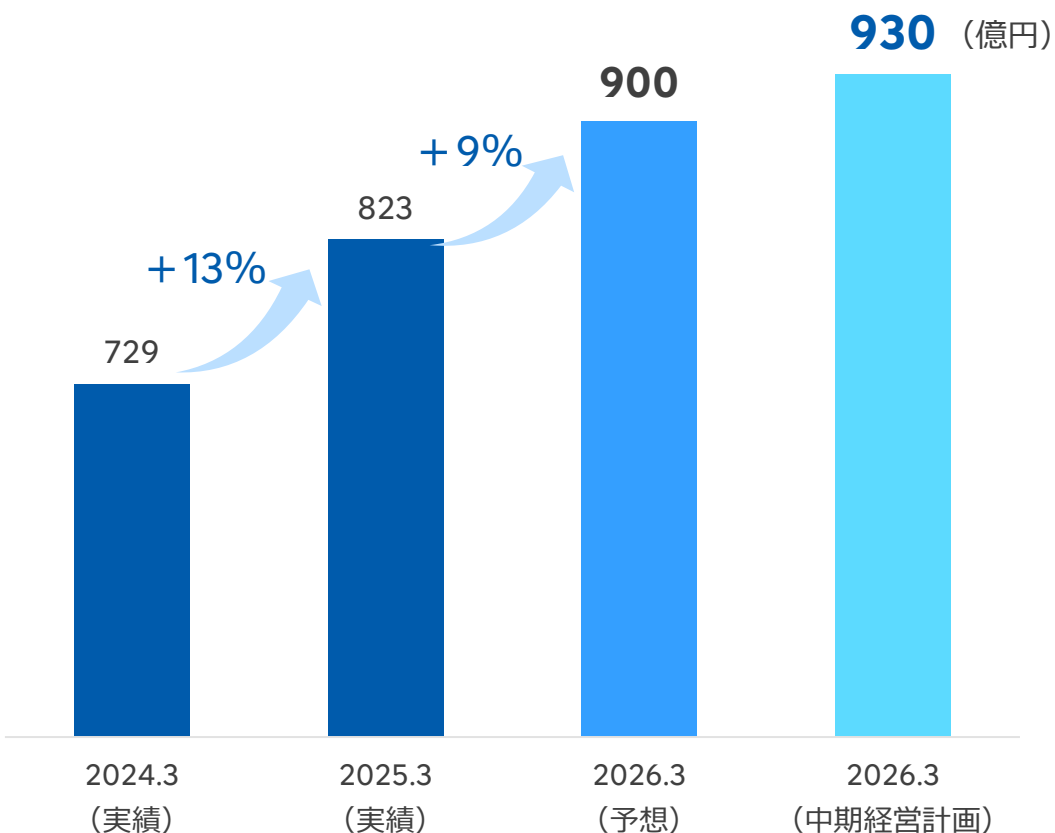
### ✓ 今後の予定

- アライアンス製品の展開加速
- 製品ポートフォリオの再構築

# 3つの成長戦略：既存事業の強化（2）

## 血液凝固分野

### ■ 血液凝固分野売上高推移



### ✓ 進捗

- ・ シーメンスとの契約変更、欧米地域での直販開始
- ・ 他社切替含む案件数の増加、試薬販売の伸長

### ✓ 今後の予定

- ・ 米州CNシリーズ販売開始により、欧米ビジネスを加速
- ・ 試薬採用項目拡大による、収益性向上

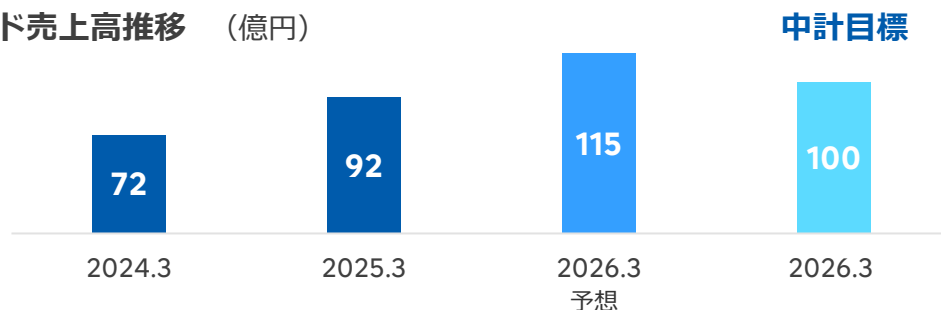


全自動血液凝固測定装置 CN™-6500/CN™-3500    全自動血液凝固測定装置 CS-1600™

# 3つの成長戦略：新興国戦略

各地域の取り組みが奏功し、大幅伸長。計画を前倒しで達成見込み

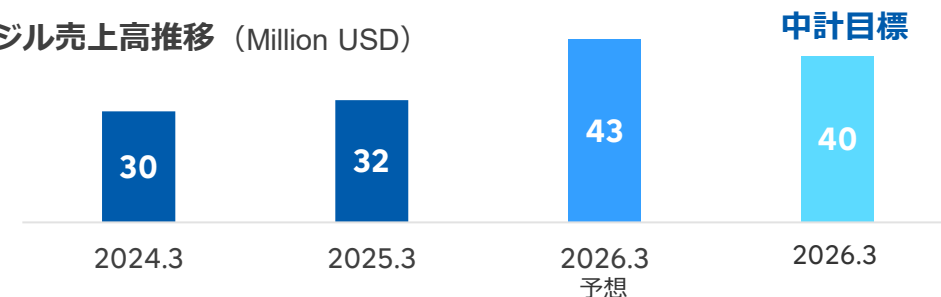
インド売上高推移（億円）



## ✓ 進捗

- ・ インドに新生産拠点設立
- ・ サウジアラビアなど直販エリアの売上拡大
- ・ ケニアに現地法人設立

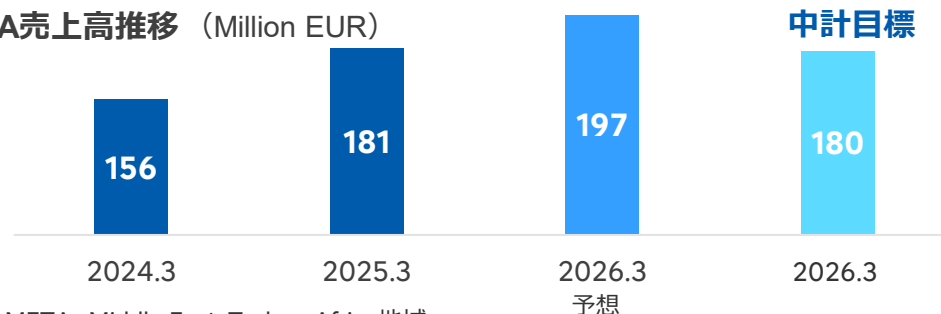
ブラジル売上高推移（Million USD）



## ✓ 今後の予定

- ・ Make in Indiaに対応した機器の販売開始
- ・ 直販エリアでのサービス&サポートの強化
- ・ ブラジルにおいて新生産拠点設立の準備開始

META売上高推移（Million EUR）



\*META : Middle East, Turkey, Africa地域



インド新生産拠点稼働開始



インド市場向け  
多項目自動血球計数装置 XQ-320

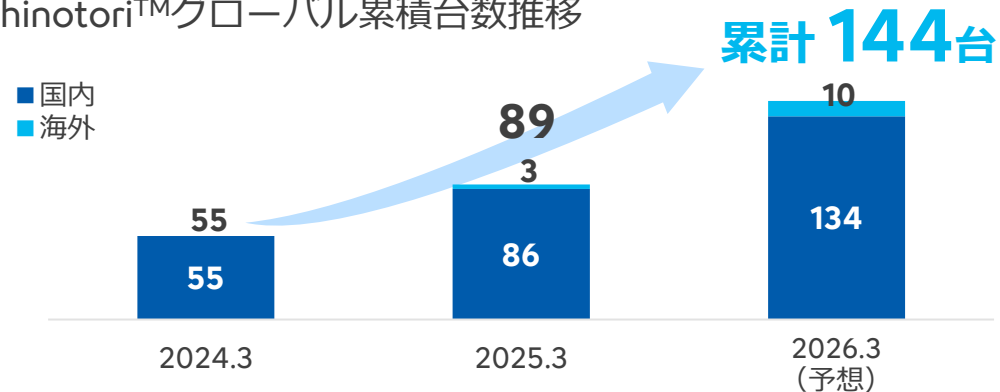


# 3つの成長戦略：新規事業の拡大

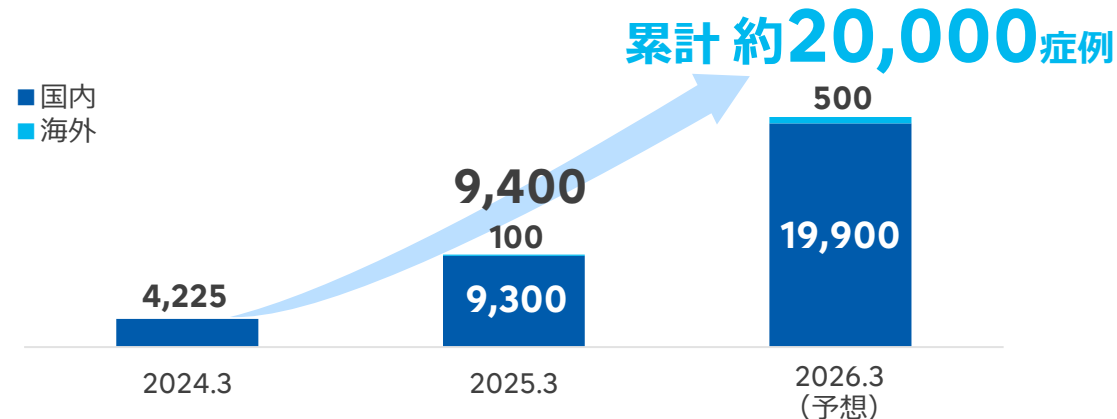
## メディカルロボット事業

計画より遅延も、国内設置台数および症例数が増加  
海外市場導入を開始し、事業拡大フェーズへ

■ hinotori™グローバル累積台数推移



■ hinotori™グローバル累積症例数推移



## 再生細胞医療

再生細胞医療の「品質管理」、「製造の自動化」、  
「製剤開発」に寄与

### ✓ 進捗

- 移植細胞の生着機能や機能発現の指標となる分泌タンパク質の測定試薬（HISCL™）を上市
- Gaudi Clinical との業務提携及び資本提携による品質管理事業の拡大



HISCL™ VEGF 試薬  
HISCL™ PEDF 試薬  
(研究用)



キオスク型細胞調製室

計画よりも大幅に遅延したものの  
グループ全体で業務プロセスの見直しと統一を実現

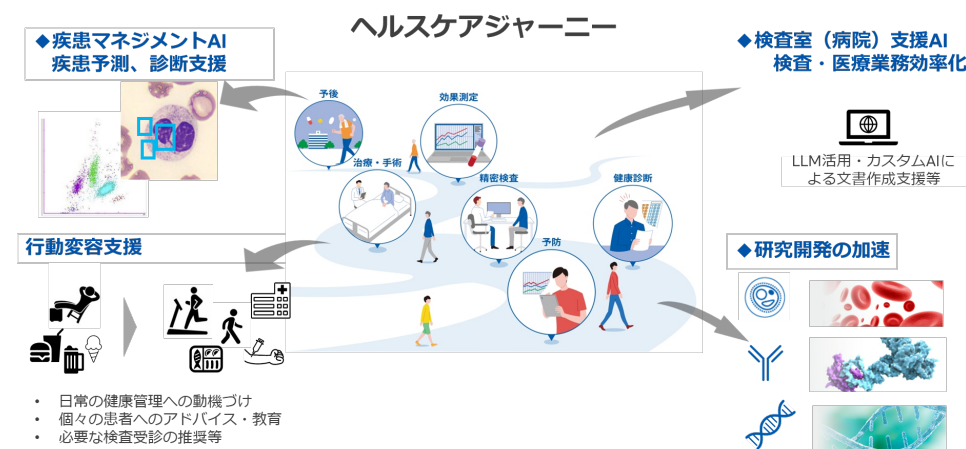
## 社内DXによる企業変革

- ✓ 2025年4月グローバルで全システムの稼働開始
- ✓ 基幹システム、その他デジタル基盤の刷新が完了
- ✓ デジタル化による業務効率
  - 市民開発（従業員自ら開発）による業務システム開発の推進

社内AI開発プログラム参加人数 **約780名**  
従業員開発アプリ数 **約180**

## AIの活用

- ✓ シスメックスが保有する学術・検査データを活用した新たな事業の確立
  - 疾患マネジメントAI（疾患予測、診断支援）
  - 行動変容支援
  - 検査室支援AIによる検査・医療業務の効率化
- ✓ 社内業務の効率化や研究開発の加速



# サステナビリティ経営の推進

## E：環境への負荷低減

- ✓ プラスチック製容器の水平リサイクル実用化
- ✓ 一部冷凍輸送でのドライアイスフリーでの出荷を国内で開始



使用済みプラスチック製  
試薬容器

## S：魅力ある職場の実現

- ✓ 人的資本経営の推進、ISO 30414認証取得（日本）
- ✓ 信託型株式報酬制度（ESOP）の導入

## G：ガバナンスの強化

- ✓ 取締役会の多様性を強化  
社外取締役が指名委員会・報酬委員会の委員長就任  
2025年6月に新たに社外取締役を選任予定
- ✓ 役員株式報酬制度を導入。財務・企業価値指標を設定

## 世界的なサステナビリティインデックスに採用

- ✓ DJSI World Indexの構成銘柄に9年連続で選定



ヘルスケア機器業界  
ランキング  
1位



2024 CONSTITUENT MSCIジャパン  
ESGセレクト・リーダーズ指数



# 次期中期経営計画の策定に向けて

## 現中期経営計画の進捗総括

- ✓ 一部計画からの遅れや課題があるものの、3つの成長戦略を中心に、おおむね順調に推移

現中期経営計画  
(2024年3月期～2026年3月期)

## 次期中期経営計画の策定に向けて

- ✓ 最終年度である2029年3月期は創立60周年を迎える
- ✓ 成長を維持・発展させ、企業価値を向上させる取り組みを進める

### フォーカスイメージ

- 3つの成長戦略の深化
- AIを活用した医療DXの推進
- 収益性・効率性の更なる改善 など

次期中期経営計画  
(2027年3月期～2029年3月期)

創立  
60周年

# 4. 2026年3月期 業績予想

短期間で状況が大きく変化しているため影響額の試算は困難であるが  
サプライチェーンの見直しや価格転嫁など、影響を最小限に抑える対応を検討

＜前提＞ 2026年3月期を通じて以下が継続

- － 相互関税 追加関税率10%（対象：主に米国向け機器製品）
- － 鉄鋼・アルミ製品への追加関税25%（対象：主にアルミ・鉄鋼を含む日本産パーツなど）
- － 各国の報復関税影響

**年間約30-40億円の売上原価悪化影響を計画へ反映**

# 2026年3月期 業績予想

外部環境の変化はあるものの、ビジネスは堅調に推移しており、増収増益を計画

(億円)	2026年3月期		2025年3月期		伸長率
	予想	構成比	実績	構成比	
売上高	5,350	100.0%	5,086.4	100.0%	+5.2%
売上原価	2,510	46.9%	2,366.6	46.5%	+6.1%
販売費及び一般管理費	1,610	30.1%	1,508.4	29.7%	+6.7%
研究開発費	330	6.2%	314.5	6.2%	+4.9%
営業利益	915	17.1%	875.8	17.2%	+4.5%
親会社の所有者に帰属する当期利益	570	10.8%	536.6	10.6%	+6.2%
投資計画					
設備投資 500億円			減価償却費 450億円		

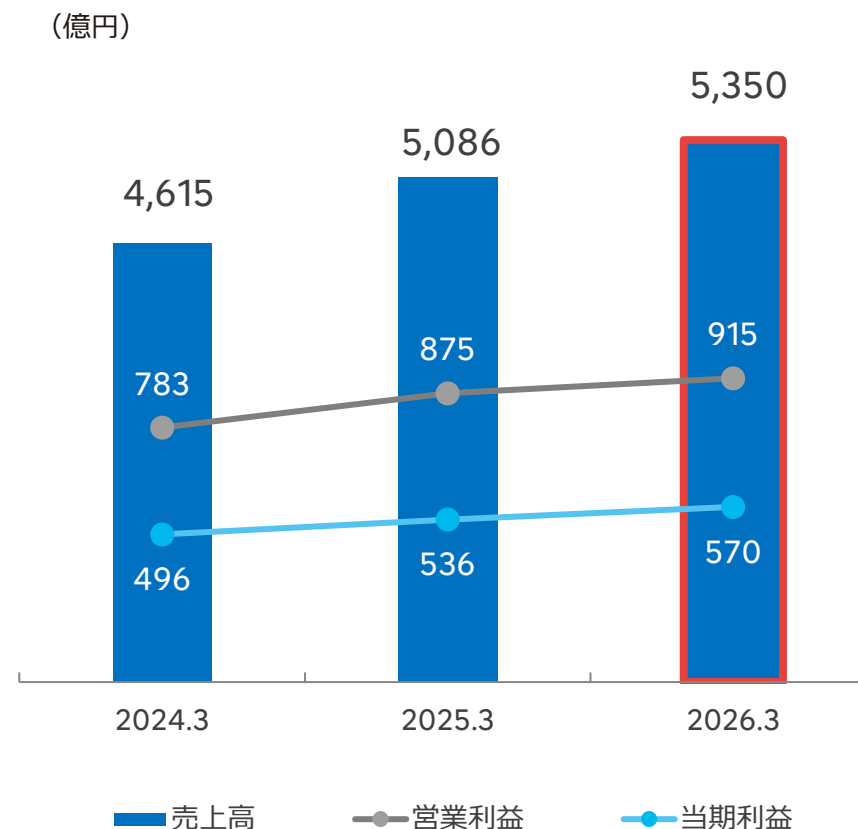
## ● 想定為替レート

	通期想定	前期実績 (25年3月期)
1 USD	142.0円	152.6円
1 EUR	160.0円	163.8円
1 CNY	19.5円	21.1円

## ● 為替感応度の概算値

	売上 (年間)	営業利益 (年間)
USD	8.1億円	1.1億円
EUR	6.0億円	0.5億円
CNY*	5.8億円	4.3億円

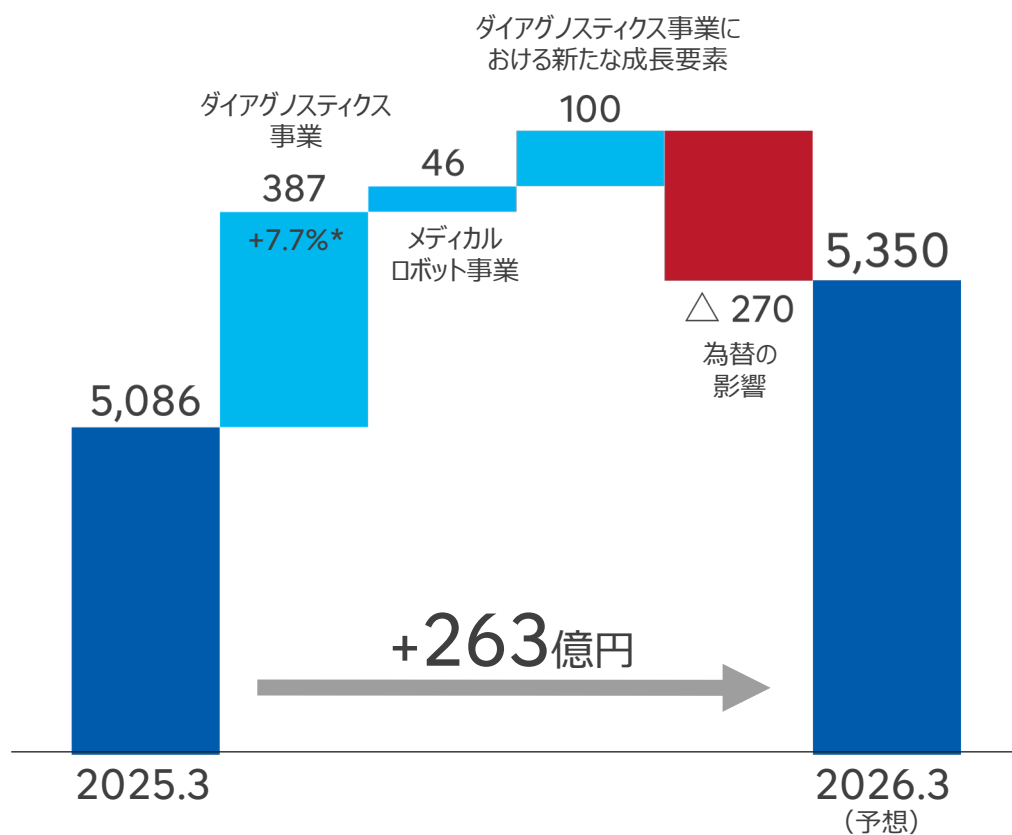
\*0.1円変動時



# 2026年3月期 売上高・営業利益増減要因

## 売上高

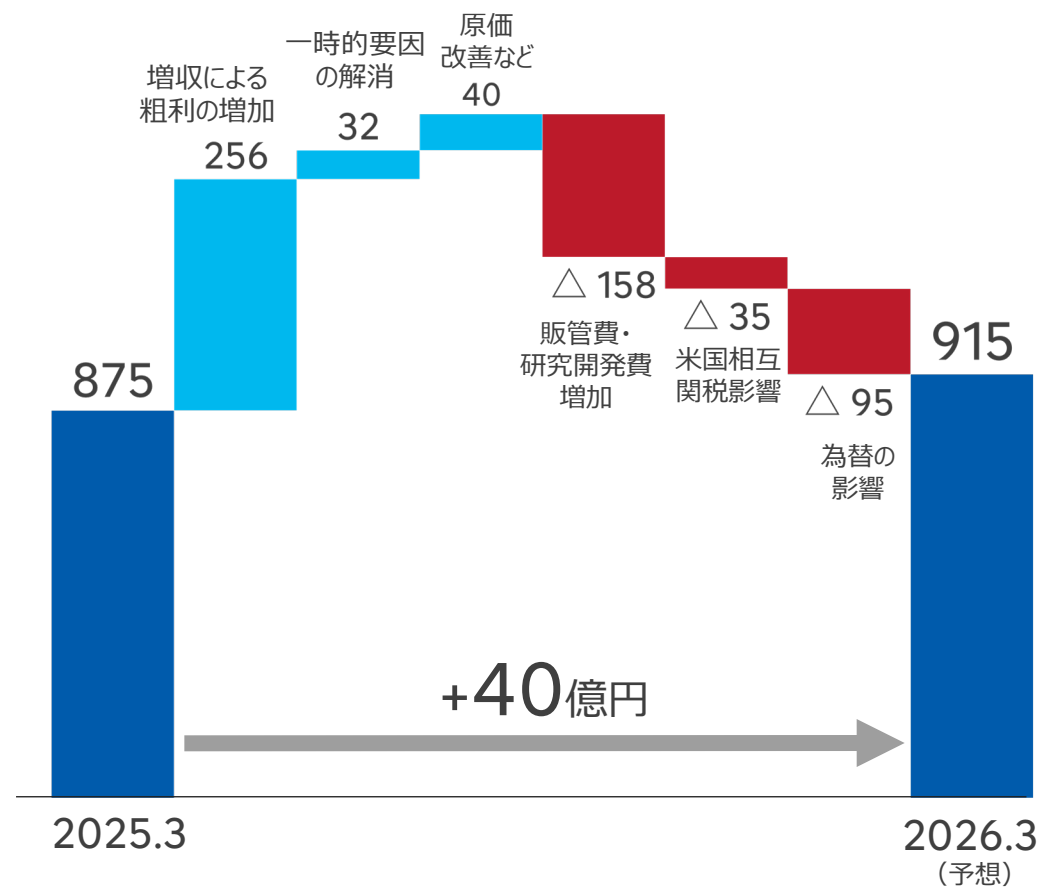
(億円)



\*2025年3月期からの伸長率

## 営業利益

(億円)





# 中期経営計画に対する2026年3月期通期予想

計画策定時から外部環境変化などを考慮し、柔軟かつ戦略的な計画へ再設計

(億円)	中期経営計画 (2026年3月期目標) *2023年5月公表		2026年3月期 通期予想	
	当初計画	構成比	実績	対当初計画
売上高	5,600	100.0%	5,350	95.5%
営業利益	1,120	20%	915	81.7%
ROE	16%	—	12%	△4.0pt

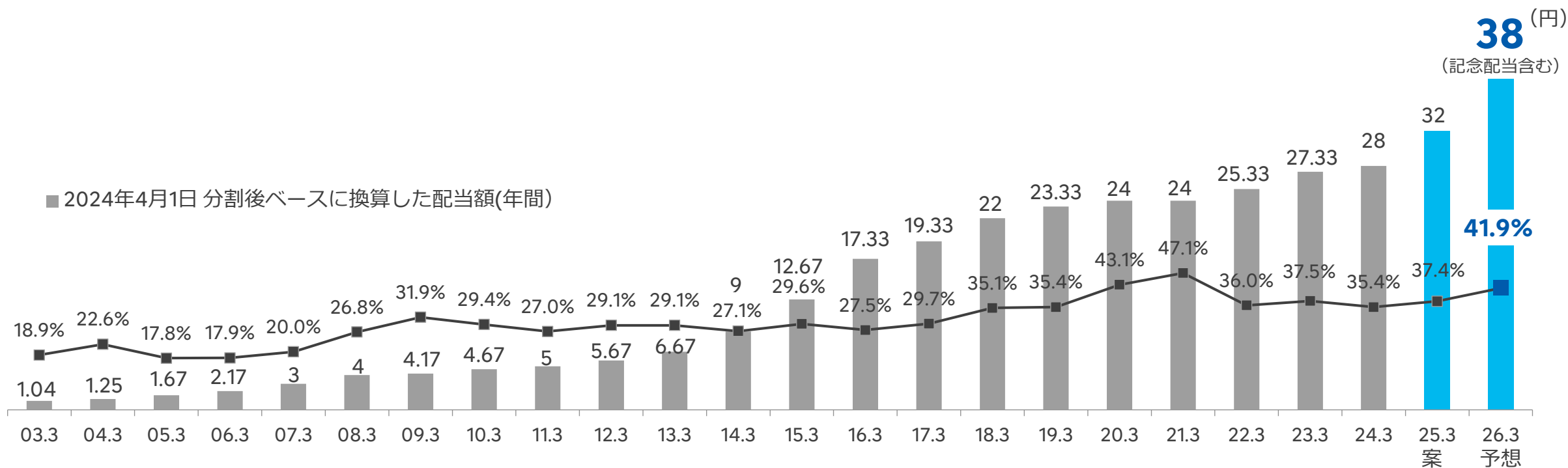
## <分野別 売上高>

ヘマトロジー分野	2,970	—	3,080	104%
尿分野	430	—	430	100%
血液凝固分野	930	—	900	97%
免疫分野	400	—	265	66%
ライフサイエンス	310	—	250	81%
メディカルロボット事業	270	—	100	37%

- 売上高は**堅調に推移**
- 社内デジタル化が計画より遅延し、**投資が拡大**、収益性・生産性向上も**想定より遅れ**
- XRシリーズ導入効果や新興国加速により**順調に進展**
- 北米でのUNシリーズの販売拡大などにより**順調に進展**
- 販売地域拡大により伸長も、米国でのCNシリーズ認可取得に時間を要し、**想定より若干の遅れ**
- 中国での集中購買の影響などにより、**想定より遅れ**
- ピボットにより事業全体の見直しを行っており**想定より遅れ**
- 立上げに時間を要すも、設置台数および症例数は順調に増加。リース設置が多いため、売上は**想定を下回り、台数ベースでは約1年遅れ**

# 新配当方針および2026年3月期 配当予想

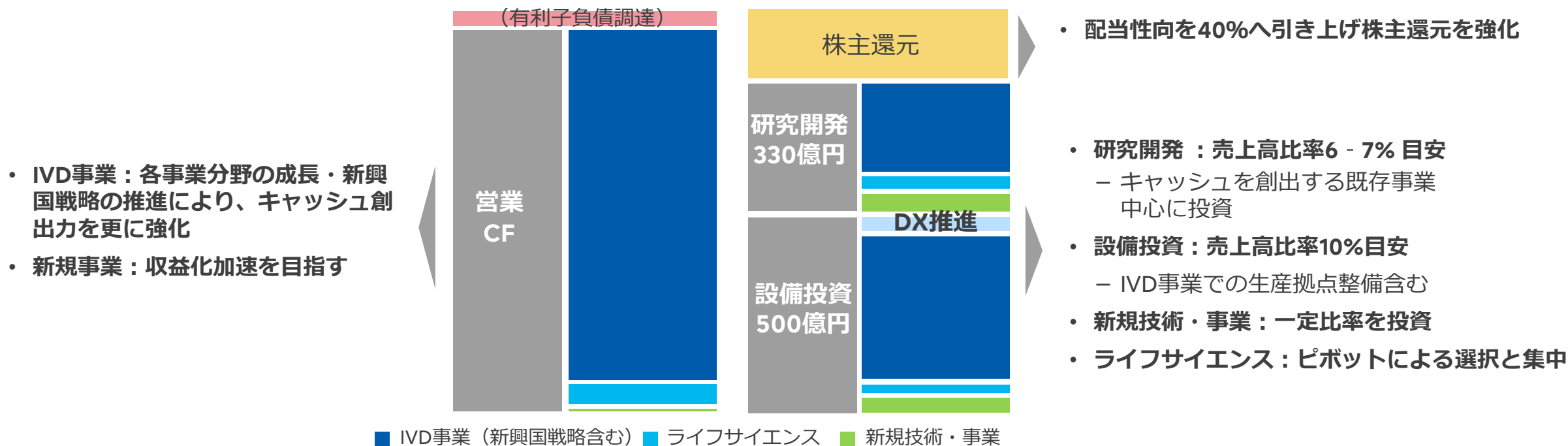
株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行う基本方針のもと、**連結での配当性向を40%目処に累進配当**を行う



# 5. 資本コストを意識した経営の取り組み

# 資本コストや株価を意識した経営の実現

## ■ 2026年3月期 キャピタルアロケーションイメージ



### 経営のコミットメント強化

- 株主との価値共有を目指した役員報酬改定
  - － 業績連動型株式報酬を導入
  - － 業績連動指標に相対TSR等を導入

### サステナビリティ経営

- 取締役会の多様性強化
  - － 新たに女性社外取締役を選任予定
- 人的資本の強化
  - － 付加価値生産性・エンゲージメント向上

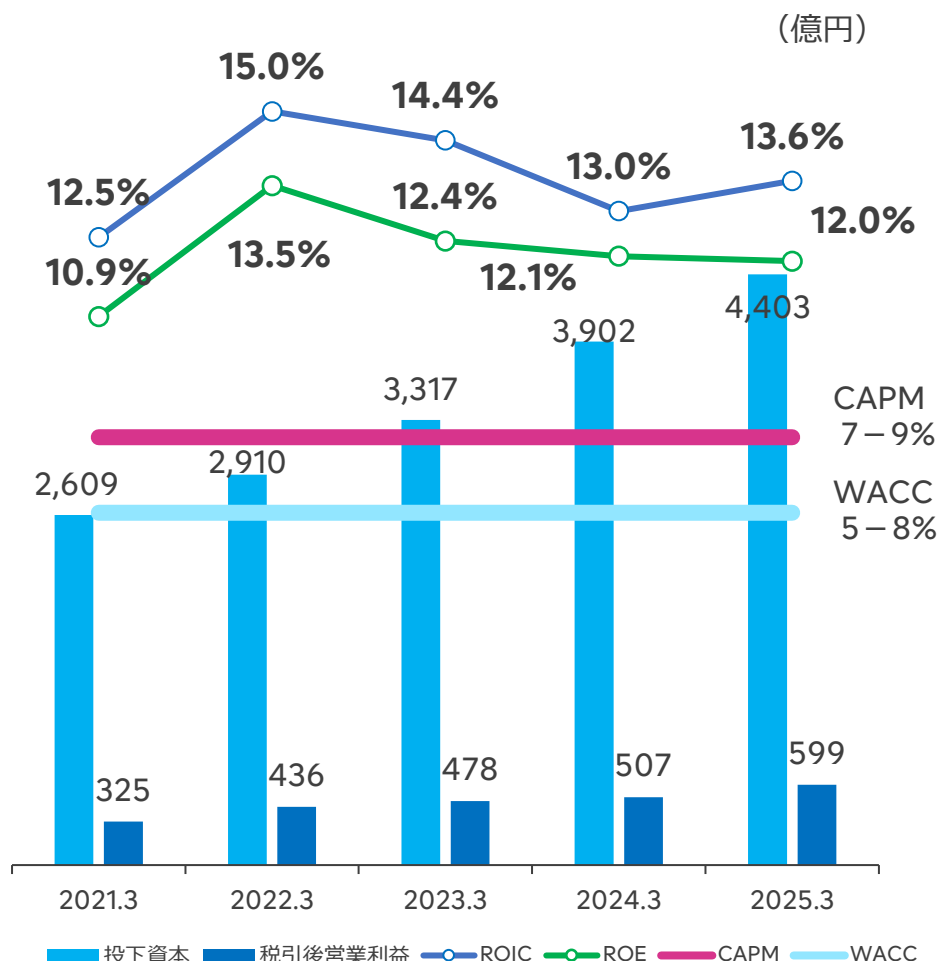
### ROIC感応度マネジメント

- ROIC改善に向けた取り組みを強化

## エクイティスプレッドの拡大

# ROIC、ROEの推移および今後の向上に向けて

ROIC・ROE向上への取り組みを実施  
成長への投資を継続しながら、高い収益性・効率性を目指す



更なる取り組みを加速



DXによる企業変革



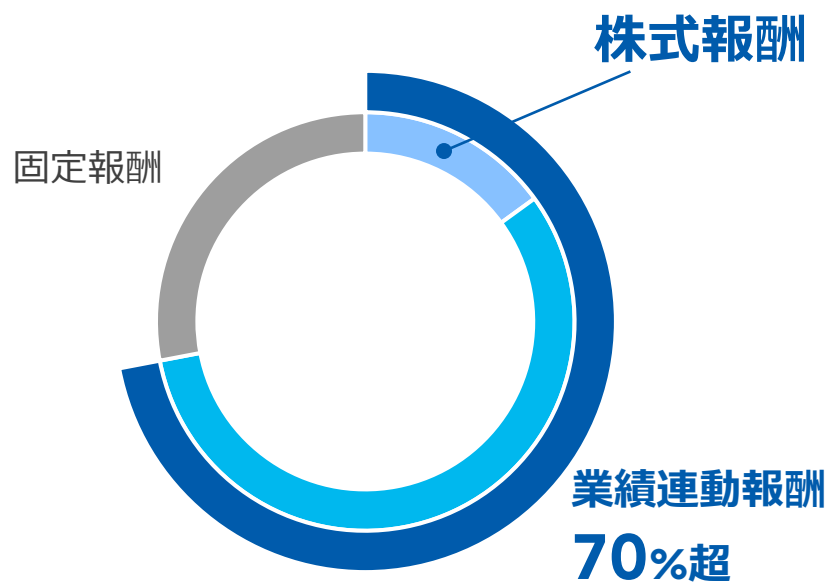
AIの活用

- ホワイトカラーの生産性向上  
(付加価値生産性)
- AI予測モデル構築による  
サプライチェーン全体の最適化  
(棚卸資産回転日数、廃棄評価減率など)

# 役員株式報酬制度の導入について（2025年8月運用開始）

役員報酬と業績・株価の連動性を高め、株主との価値共有

■役員報酬制度のイメージ



- 業績連動型株式報酬を導入  
役員報酬 BIP ※1信託の仕組みを活用し、株式市場から取得
- 業績連動指標は、中期経営計画毎にその時の経営環境に応じて設定

## 財務指標

- ✓ 売上高
- ✓ 営業利益率
- ✓ ROE

## 企業価値指標

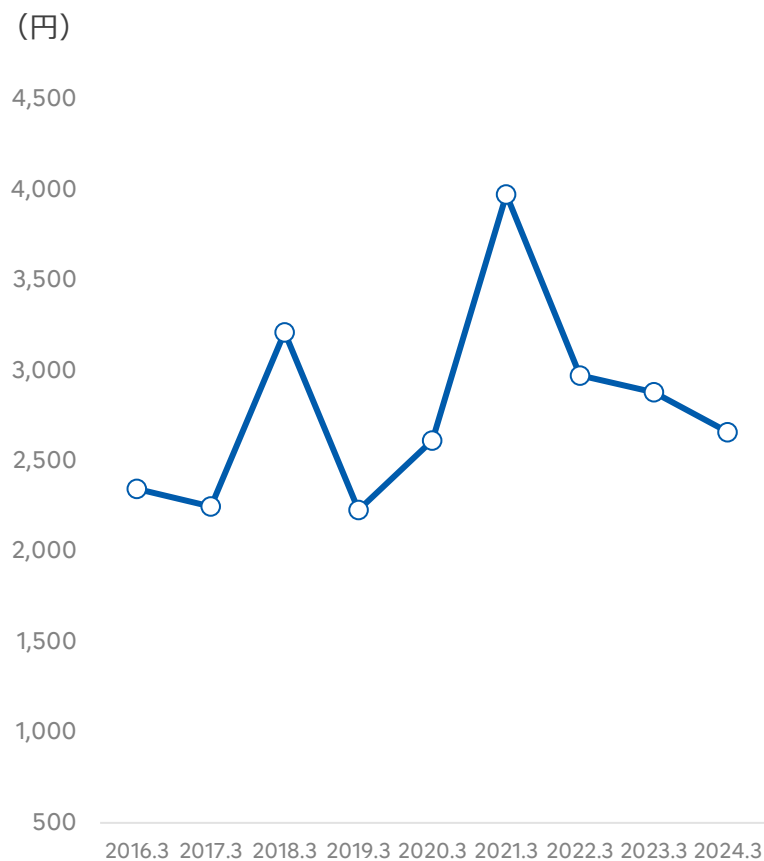
- ✓ 相対TSR※2
- ✓ 付加価値生産性
- ✓ プロダクトロスのゼロ化  
リサイクル・環境配慮材料への完全代替

※1 BIP：Board Incentive Plan, 会社が取締役等に対し、インセンティブの付与を主たる目的として在任時または退任時に自社株式を交付するスキーム

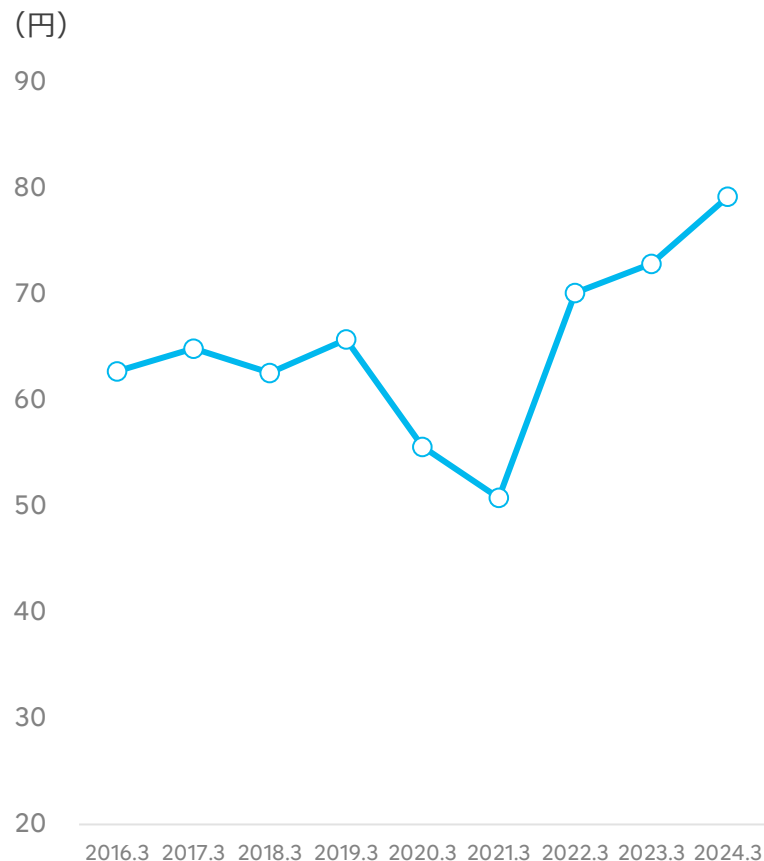
※2 相対TSR：TSR(投資家に対する総合的なリターン(値上がり益+配当金))をベンチマーク企業と比較したもの

# シスメックスの株価・EPS・PERの推移

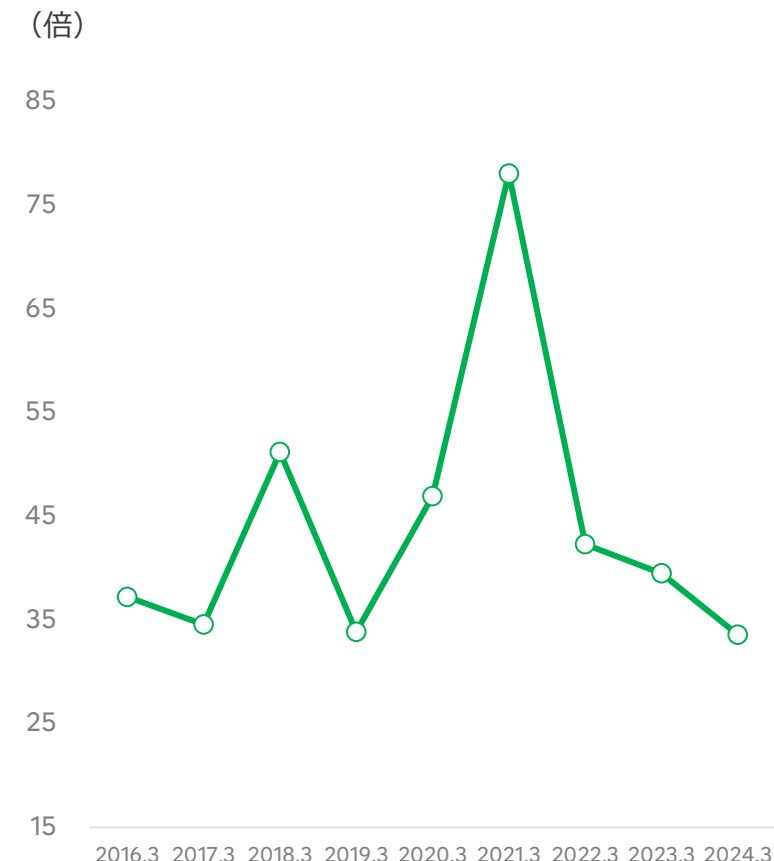
## 株価



## EPS



## PER



※株式分割後ベースに換算した数値 2024年4月1日付 (1 : 3)

(補足資料)



# 2025年3月期：単四半期業績推移



	1Q (4月-6月)		2Q (7月-9月)		3Q (10月-12月)		4Q (1月-3月)	
(億円)	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比
売上高	1,119.4	100.0%	1,305.3	100.0%	1,243.8	100.0%	1,417.7	100.0%
売上原価	519.0	46.4%	592.7	45.4%	568.7	45.7%	686.0	48.4%
販売費及び 一般管理費	360.1	32.2%	363.5	27.9%	376.0	30.2%	408.7	28.8%
研究開発費	73.5	6.6%	78.8	6.0%	73.0	5.9%	89.1	6.3%
その他の営業損益	0.7	0.1%	7.4	0.6%	2.3	0.2%	△31.3	△2.2%
営業利益	167.4	15.0%	277.5	21.3%	228.4	18.4%	202.3	14.3%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	110.3	9.9%	149.7	11.5%	166.1	13.4%	110.5	7.8%

	2025年3月期1Q	2025年3月期2Q	2025年3月期3Q	2025年3月期4Q
1USD	155.9円	149.4円	152.4円	152.6円
1EUR	167.9円	164.0円	162.6円	160.5円
1CNY	21.5円	20.8円	21.2円	21.0円



Together for a better  
healthcare journey